

2013年3月期 第1四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2012年8月2日

代表取締役社長 赤尾 泰

本日のご説明内容

- I. 2013年3月期 第1四半期 決算概要
- II. 2013年3月期 連結業績予想
- III. 収益基盤の強化に向けて
 - III-1 事業戦略
 - III-2 生産構造対策および人的合理化施策
- IV. まとめ

エグゼクティブサマリ

I. 2013年3月期 第1四半期 決算概要

- 半導体売上高は、情報システム統合の影響などにより、前四半期比 9.5%減の1,682億円
- 営業損益は、売上減による利益減があったものの、研究開発費(R&D)の効率化、販売費および一般管理費(SG&A)の抑制などにより、前四半期比で赤字幅が縮小

II. 2013年3月期 連結業績予想

- 第2四半期以降の売上回復による利益増に加え、人的合理化施策や生産構造対策などによる費用削減効果により、下期および通期での営業黒字化を見込む
- 事業・生産構造対策や人的合理化策等に伴う特別損益を△1,550億円計上することなどにより、通期の当期純損益は1,500億円の赤字を見込む

I. 2013年3月期 第1四半期 決算概要

2013年3月期 第1四半期 決算概要

- 半導体売上高は、情報システム統合の影響などにより、前四半期比9.5%減の1,682億円
- 営業損益は、売上減による利益減があったものの、R&Dの効率化、SG&Aの抑制などにより、前四半期比で赤字幅が縮小

2012年3月期

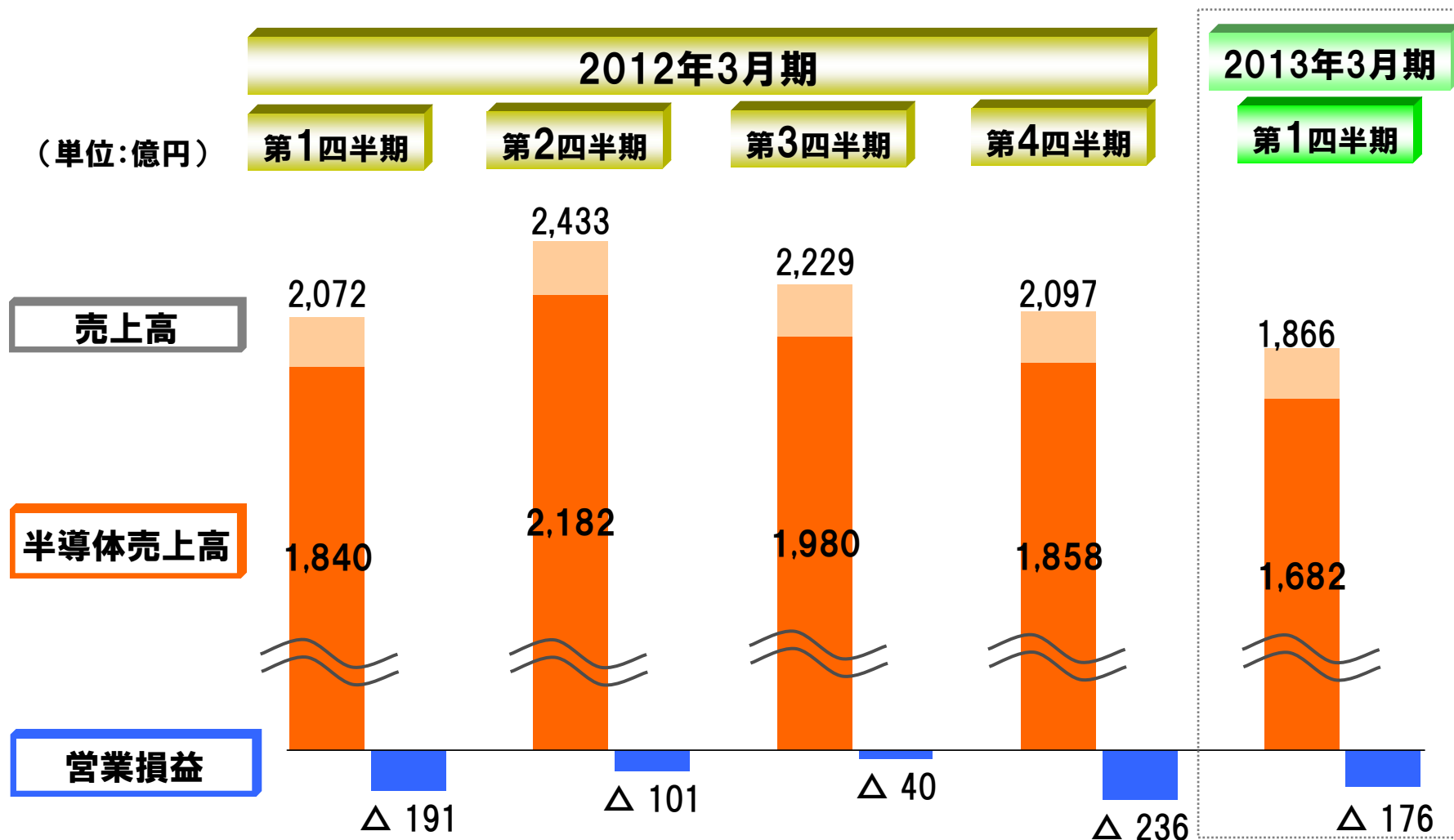
(単位:億円)	第1四半期	第4四半期
売上高	2,072	2,097
半導体売上高	1,840	1,858
営業損益	△191	△236
経常損益	△203	△243
四半期純損益	△332	△182
1US\$=	82円	78円
1ユーロ=	117円	102円

2013年3月期

第1四半期	前年同期比 (%)	前四半期比 (%)
1,866	△206 (△10.0%)	△231 (△11.0%)
1,682	△158 (△8.6%)	△176 (△9.5%)
△176	+15	+60
△176	+27	+67
△208	+125	△26
81円	1円 円高	3円 円安
106円	11円 円高	4円 円安

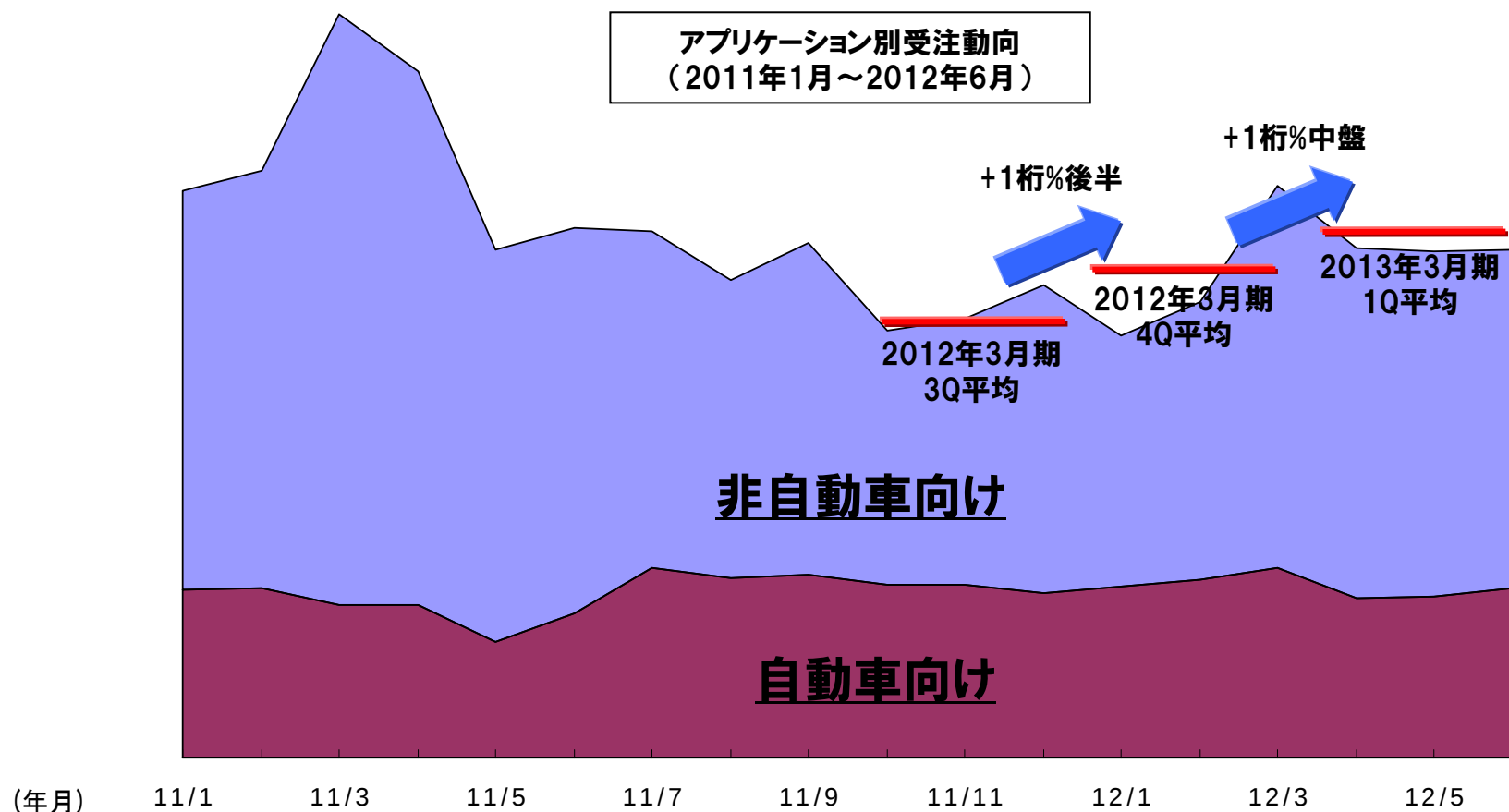
四半期業績推移

(単位:億円)



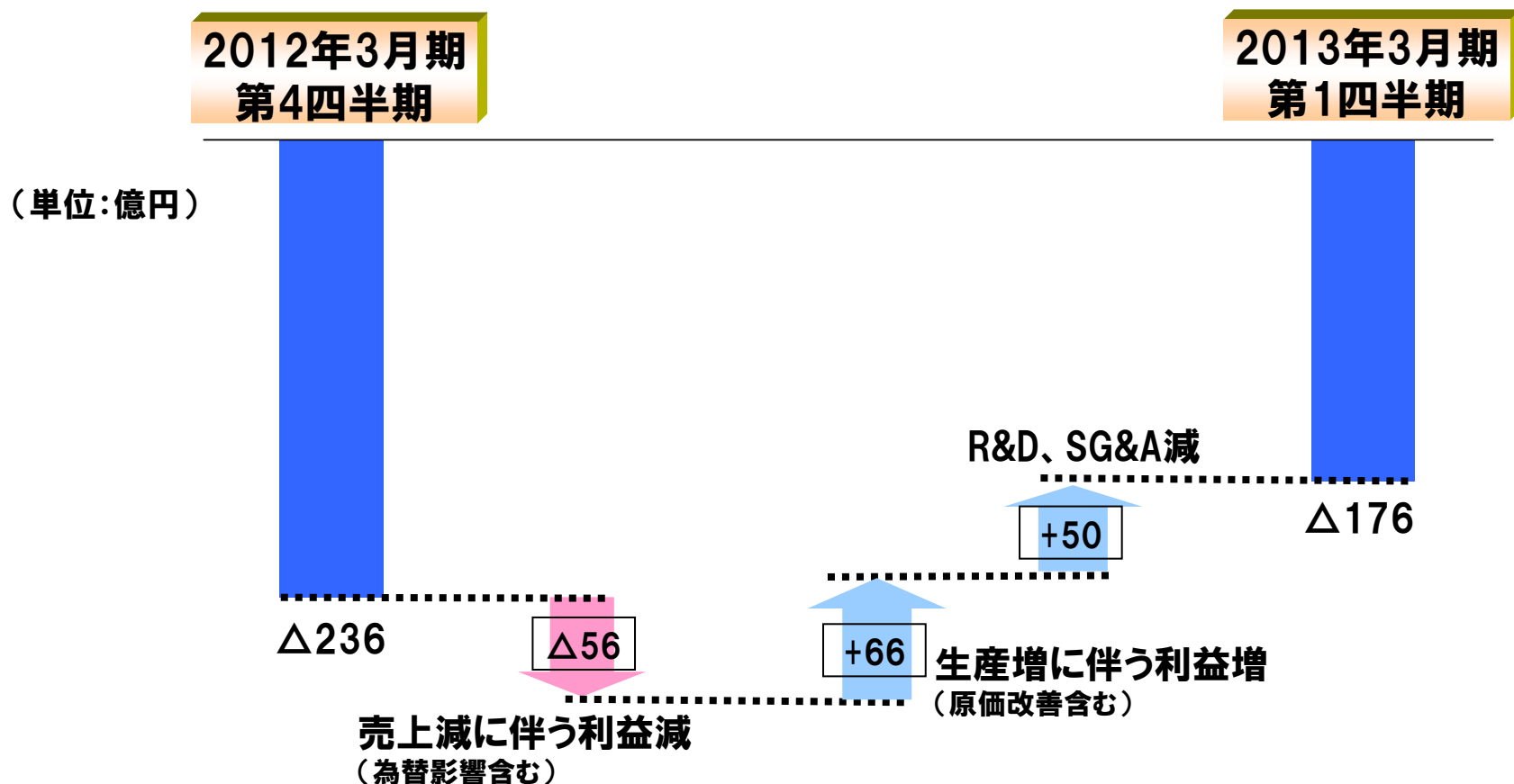
受注状況の推移

- 情報システム統合の影響により、売上高としては前四半期比で減収となったものの、実需ベースの受注トレンドとしては、前年度第3四半期をボトムに回復傾向が継続
- 自動車向けについては、変動の波が少なく、堅調に推移



2013年3月期 第1四半期営業損益（前四半期比）

- 売上減による利益減があったものの、生産増に伴う利益増や、R&D費用の効率化、SG&Aの抑制などにより、前四半期比で60億円の改善



バランスシートの状況

(単位:億円)	12/3末	12/6末
総資産	8,582	7,857
うち 現金及び現金同等物	1,319	870
うち たな卸資産	1,518	1,638
負債合計	6,317	5,854
うち 有利子負債	2,583	2,465
株主資本	2,434	2,227
純資産合計	2,265	2,003
D/Eレシオ(グロス)	1.19倍	1.29倍
D/Eレシオ(ネット)	0.58倍	0.83倍
自己資本比率	25.4%	24.4%

(注)①現金及び現金同等物:「現金及び預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3ヶ月を超える定期預金」を控除しております。

②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「リース債務」、「長期借入金」

③自己資本:「株主資本」、「その他の包括利益累計額」 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債／自己資本

キャッシュ・フローの状況

- 早期退職優遇制度の実施により想定される支出影響を除き、キャッシュ・フローは、当第1四半期を底に改善へ

2012年3月期

2013年3月期

(単位：億円)

	第1四半期	第4四半期	通期
営業活動による キャッシュ・フロー	△292	△66	△97
投資活動による キャッシュ・フロー	△148	△73	△551
フリー・ キャッシュ・フロー	△440	△140	△648

第1四半期

△181

△107

△287

II. 2013年3月期 連結業績予想

2013年3月期 連結業績予想

- 半導体売上高は、前期比で250億円の増加、営業損益は前期比778億円改善し、通期で210億円の黒字回復を見込む
- 当期純損益については、早期退職優遇制度や事業・生産構造対策の実施などによる特別損益△1,550億円の計上を見込み、通期で1,500億円の赤字となる見通し

2012年3月期

2013年3月期

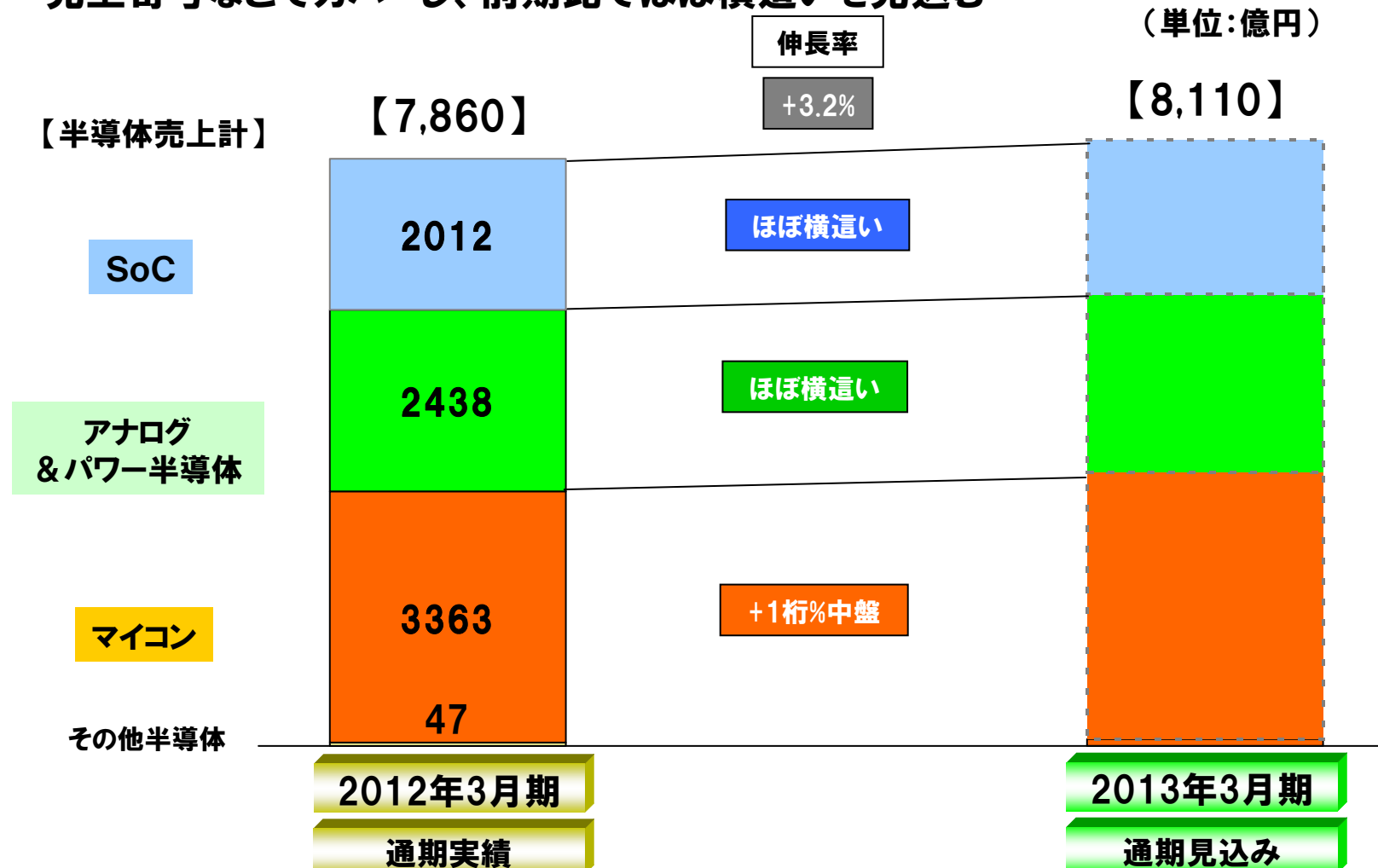
(単位:億円)

	上期	下期	通期
売上高	4,505	4,326	8,831
半導体売上高	4,022	3,838	7,860
営業損益	△292	△276	△568
経常損益	△333	△278	△612
当期純損益	△420	△206	△626
1US\$=	81円	78円	79円
1ユーロ=	115円	104円	109円

上期	下期	通期	前期比
4,060	4,620	8,680	△151
3,770	4,340	8,110	+250
△255	465	210	+778
△295	395	100	+712
△1,025	△475	△1,500	△874
78円			1円円高
100円			9円円高

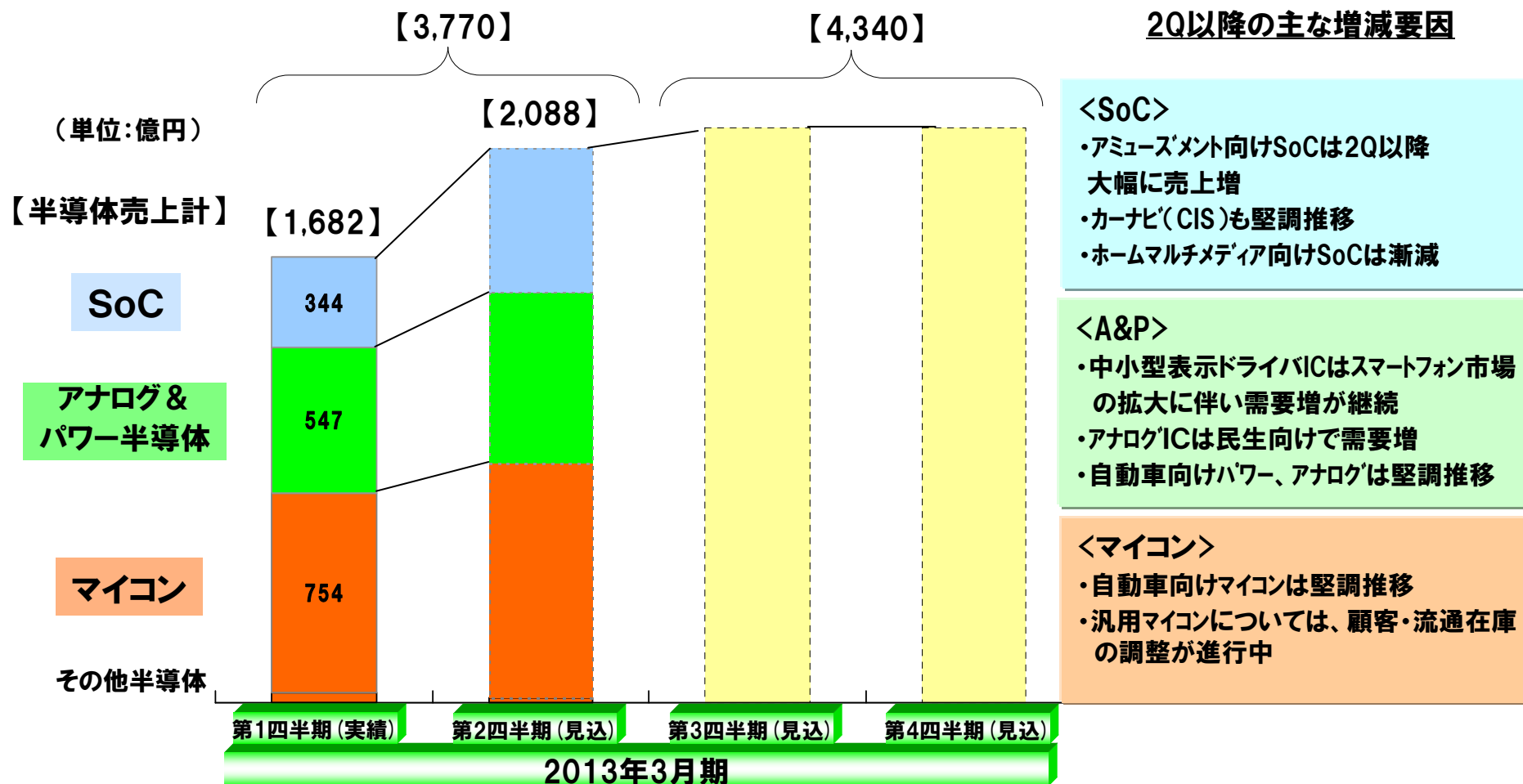
2013年3月期 通期 半導体売上高(対前期比)

- マイコンは、堅調な自動車マイコンと、汎用マイコンの回復により1桁%中盤の増収を見込む
- SoCとアナログ&パワー半導体は、一部事業の譲渡・集約に伴う売上減を、大型案件の売上寄与などでカバーし、前期比でほぼ横這いを見込む



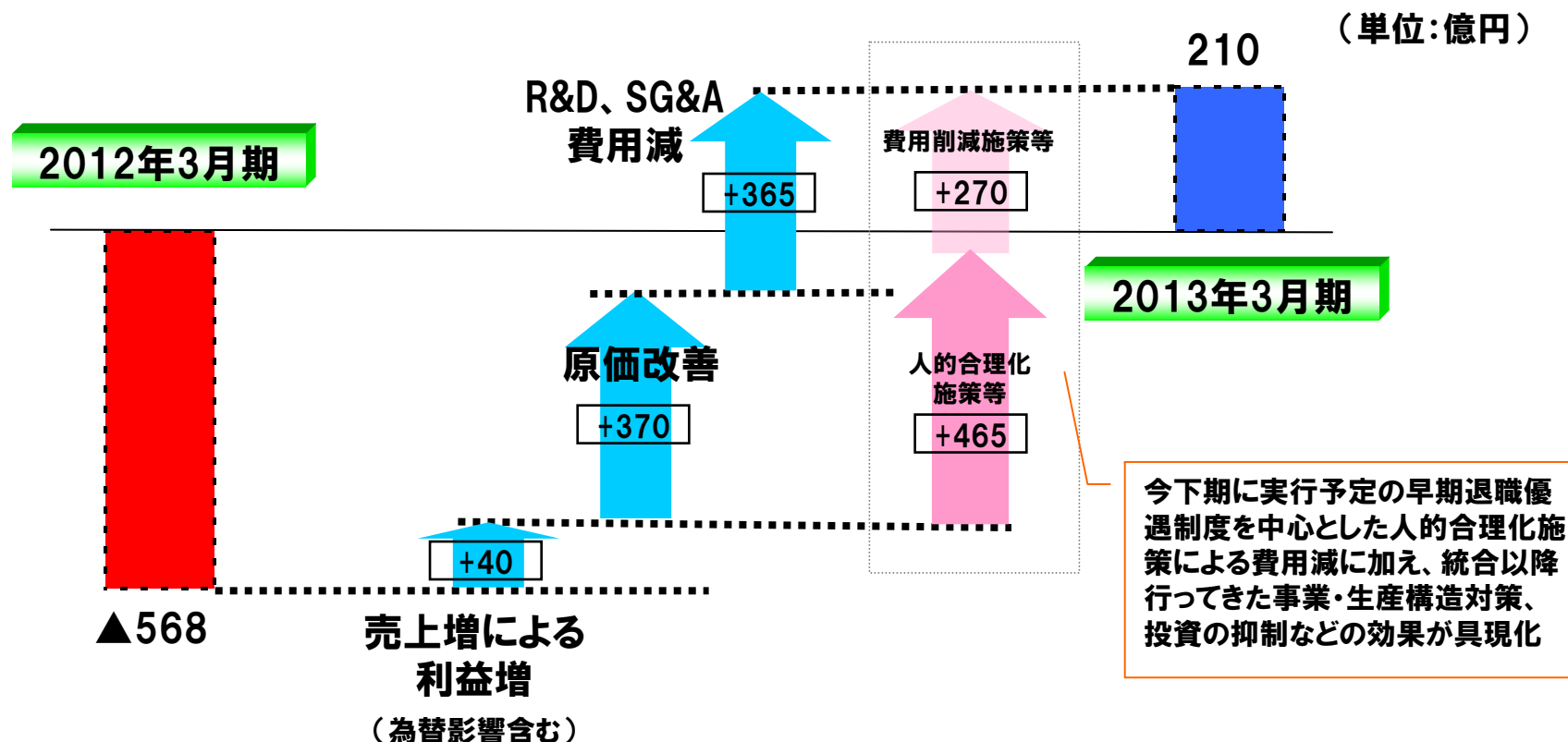
2013年3月期 半導体売上高 四半期推移

- 大型案件を含む受注の回復傾向により、第2四半期は前期比で24%売上増、第3四半期以降も売上維持



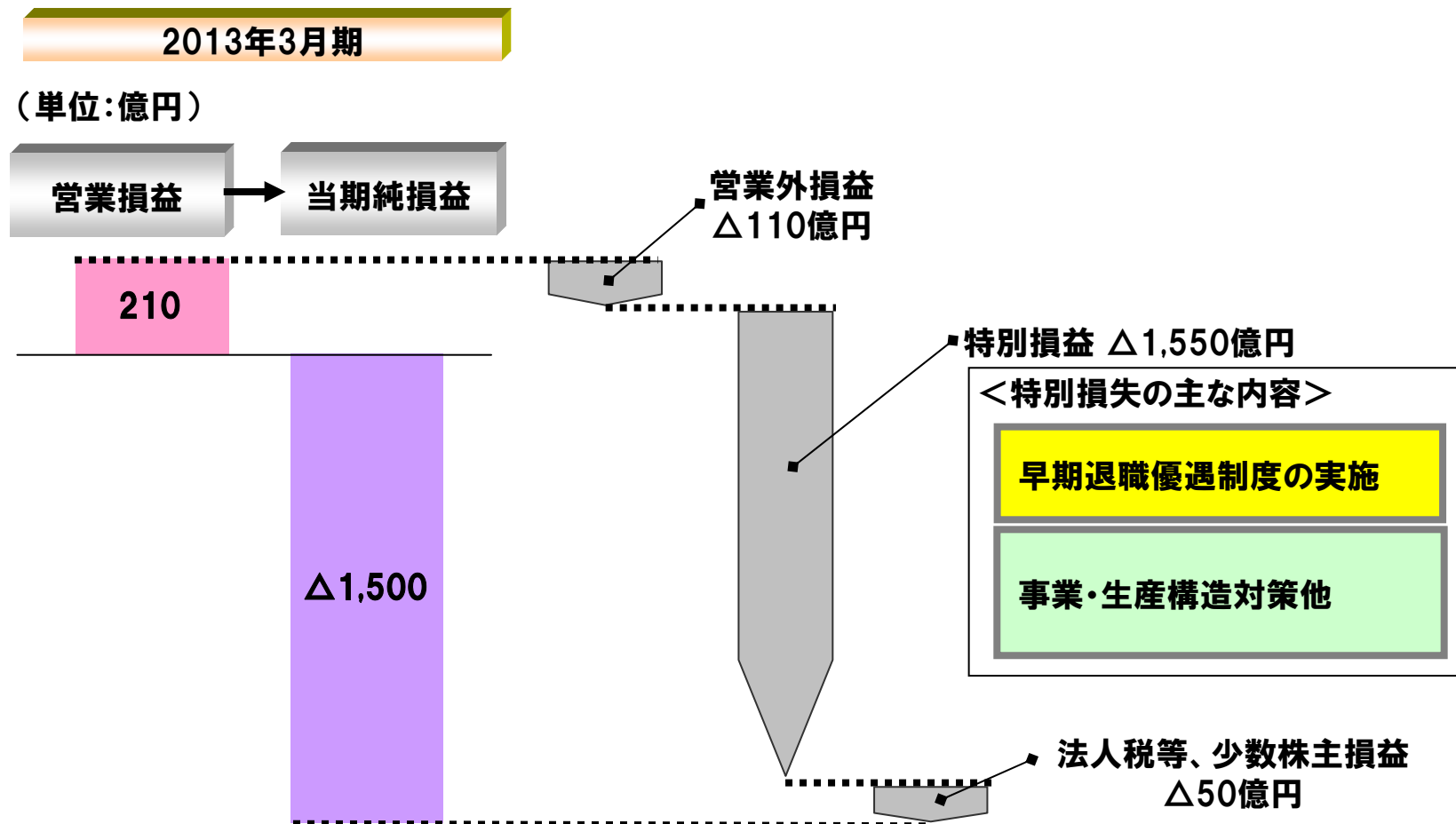
2013年3月期 通期 営業損益 見通し

- 売上増による利益増に加えて、人的合理化施策を中心とした費用削減効果により、通期では210億円の黒字回復を見込む



2013年3月期 通期 当期純損益

- 早期優遇退職制度の実施や事業・生産構造対策などにより、
△1,550億円の特別損益を見込む



Ⅲ. 収益基盤の強化に向けて

収益基盤の強化に向けたこれまでの取り組み

- 2010年4月統合以降、統合シナジーの実現、構造対策の実行を柱に掲げ、各種施策を着実に実行
- 競争力強化、業務効率改善に加え、統合後2年間で約20%の固定費削減

構造対策

人的合理化策

早期退職実施などの人的合理化策(約5,000人)

事業撤退

大型LCDドライバ
事業から撤退発表

パワーアンプ
事業の譲渡

工場売却・ 閉鎖等

ローズビル
工場売却

福岡
工場閉鎖

甲府6インチ
高崎5インチ
ライン縮小

滋賀5インチ
ラインの閉鎖

津軽
工場売却

青梅工場の閉鎖

震災からの復旧

2010年4月

2011年4月

2012年4月

事業強化

事業の強化

コア統合
マイコン
RL78発表

マイコン
開発環境統合
「cubeSuite+」

回路変更可能な
アナログ機能搭載
「Smart Analog」発表

コア統合
マイコン
RH850発表

TSMC社との40nm
マイコン協業発表

Wirelessモデム
事業の買収

SoC統合プラット
フォームの導入

中国向けマイコン
700品種開発完

拡販強化・ 統合シナジー

中国マイコン
現地開発強化

ブラジル
支社開設

ITシステム
の統合

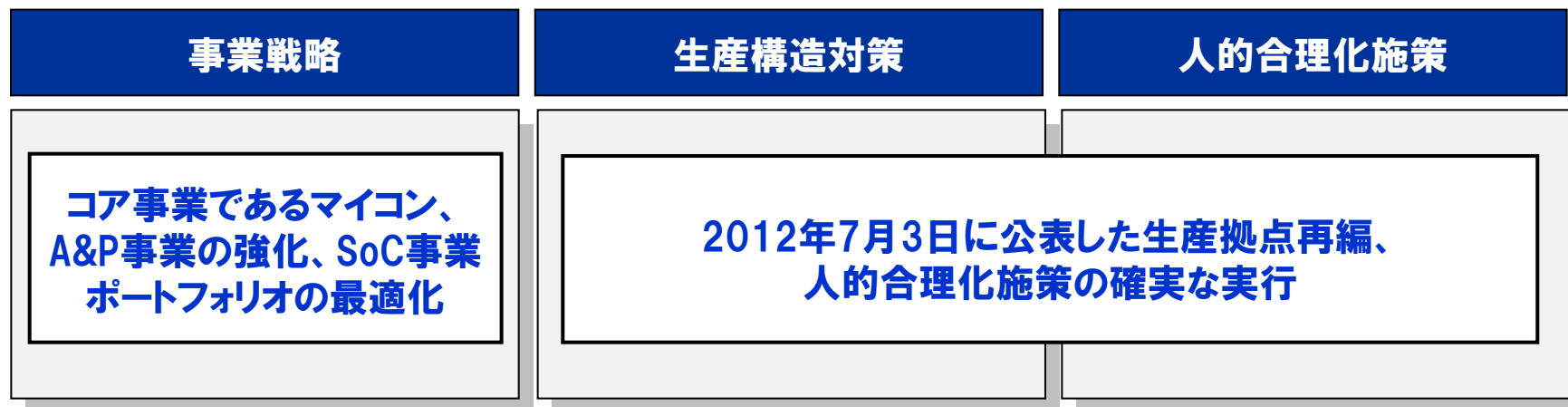
パワーデバイス
700品種開発完

資材調達・設計環境等シナジーの発揮による経営基盤強化

設備投資、研究開発の優先順位の明確化による注力分野強化

変化に対応した事業戦略と生産構造対策・人的合理化施策の加速

- 統合以降の着実な取り組み実行の一方で、東日本大震災、欧州・中国を中心とした市況の悪化、国内民生機器市場の急変、長引く円高など、さまざまな市場・競争環境の変化に直面
- 従来計画を加速するとともに、反転攻勢へ向けさらなる施策を新たに実行



Ⅲ. 収益基盤の強化に向けて

Ⅲ-1 事業戦略

スマート社会の進展

- 当社が半導体製品を提供する既存分野・アプリケーションのネットワーク化が進み、エコ、安心・安全、便利・快適を実現する「スマート社会」が到来

スマート社会

スマート
カー

スマート
グリッド

スマート
ファクトリー

スマート
ビルディング

スマート
ホーム

スマート
ヘルスケア

エコ、安心・安全、便利・快適を実現

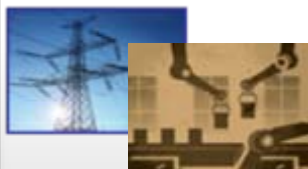
ネットワーク化

自動車



パワートレイン
シャーシ
ボディ
インフォテインメント

産業



FA・工作機械
水道・ガス・電気メータ
太陽光・水力・風力発電
ビル管理システム

家電



白物家電
エアコン
ゲーム機
LED照明

通信



携帯電話(スマートフォン)
タブレット
有線・無線通信インフラ
サーバー・ルーター

健康機器・医療



医療機器
MRI
フィットネス機器
体重計・血圧計

提供

RENESAS

マイコン

セキュリティ
マイコン

パワー
デバイス

アナログ
IC

表示
ドライバIC

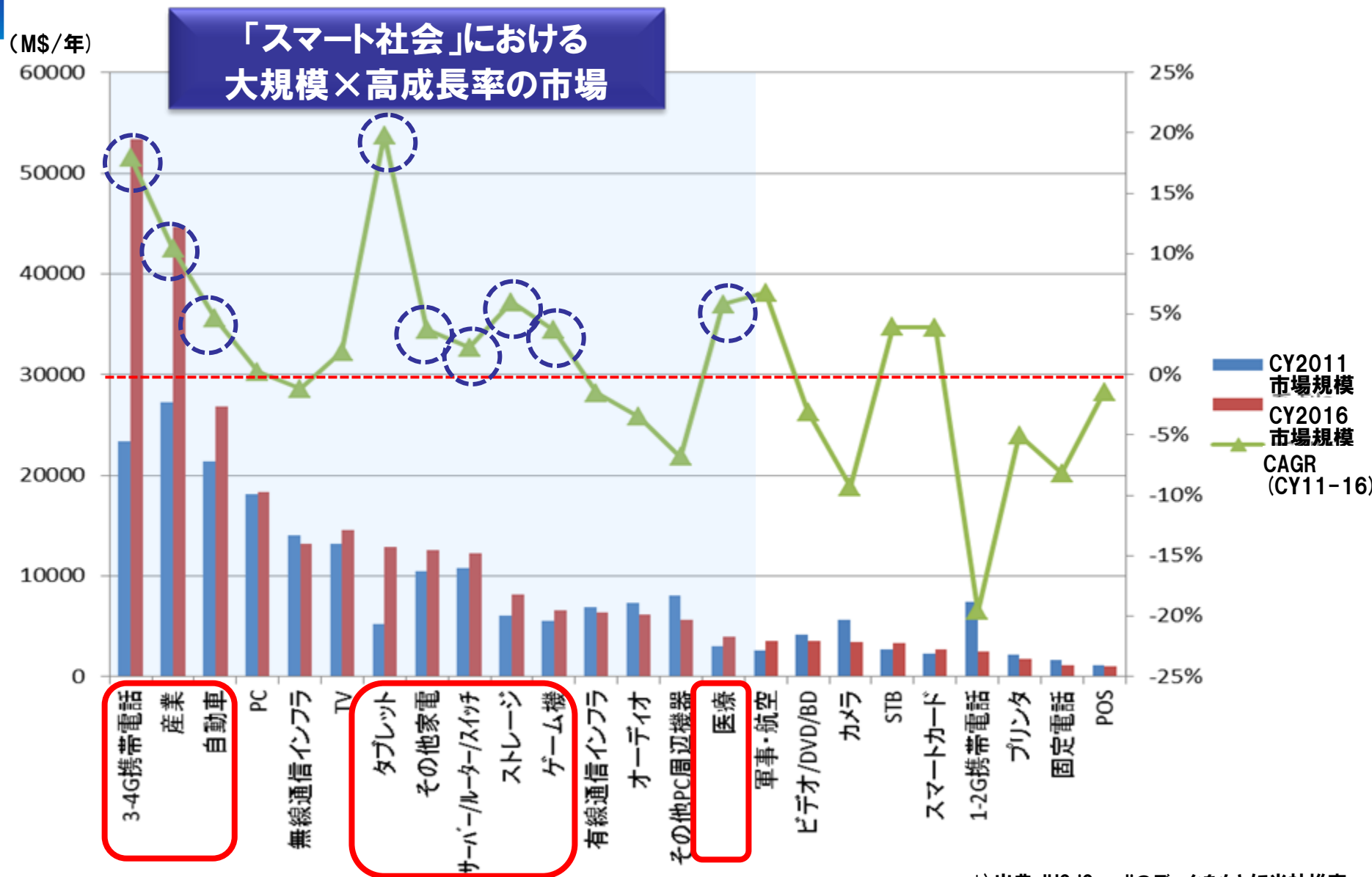
フォト
カプラ

通信
SoC

産業
SoC

...

当社半導体対象市場の成長率（CY11-16）



*) 当社半導体市場とは、全半導体からDRAM、NANDフラッシュ、MPU、センサを除いた市場

*) 出典：IHS iSuppliのデータをもとに当社推定。

自動車向けソリューション

自動車



パワートレイン
シャーシ
ボディ
インフォテインメント

産業



FA・工作機械
水道・ガス・電気メータ
太陽光・水力・風力発電
ビル管理システム

家電



白物家電
エアコン
ゲーム機
LED照明

通信



携帯電話(スマートフォン)
タブレット
有線・無線通信インフラ
サーバー・ルーター

健康機器・医療

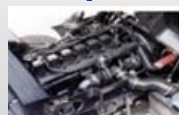


医療機器
MRI
フィットネス機器
体重計・血圧計

自動車向けソリューション

■ 自動車の高機能化を牽引するルネサスの半導体

自動車



パワートレイン



シャーシ



ボディ



インフォ
テイメント



セーフティ



ネットワーク



HEV/EV



運転支援
(ADAS)

RENESAS

世界
シェア#1

マイコン

- ✓ 40nmによる高性能・低消費電力
- ✓ マルチコア・機能安全・セキュリティ
- ✓ 8応用分野をカバーするラインアップ

アナログ

- ✓ 高精度・低損失ドライバ
- ✓ 高精度・高耐圧センサインターフェイス
- ✓ HEV/EV用バッテリーマネジメントIC

パワー

- ✓ 低耐圧パワーMOSFET 世界
シェア#1
- ✓ ボディ分野向けIPD(インテリジェント・パワーデバイス)
- ✓ HEV/EV向けIGBT

SoC

- ✓ 車載情報端末向けで高い実績 世界
シェア#1
- ✓ ハイエンド・ミッド・エントリーをカバーする「R-Car」
- ✓ 高性能グラフィックスエンジンと画像認識技術

*) シェアは当社推定。 BiCD: Bipolar CMOS DMOS、IPD: Intelligent Power Device、IGBT: Insulated Gate Bipolar Transistor

車載半導体市場での強固なポジション

- 車載半導体トータルでWW No.1を堅持
- 車載アナログ&パワー半導体では、WW No.5からTOP3入りを目指す

車載半導体 EU				
	Company	CY09	CY10	CY11
1	Infineon	13.6%	13.8%	14.7%
2	STMicro	10.5%	10.9%	11.3%
3	Bosch	10.4%	9.1%	9.4%
4	Freescale	8.5%	9.3%	8.7%
5	NXP	8.2%	8.8%	8.2%
6	Renesas	7.6%	7.9%	8.0%

車載半導体 WW		
	Company	CY11
1	Renesas	13.8%
2	Infineon	9.8%
3	STMicro	8.7%
4	Freescale	7.9%
5	NXP	6.4%

車載半導体 北米				
	Company	CY09	CY10	CY11
1	Freescale	16.1%	15.3%	13.8%
2	Infineon	7.8%	7.7%	8.5%
3	STMicro	6.6%	7.4%	8.0%
4	Renesas	6.5%	7.0%	7.5%
5	NXP	7.1%	7.5%	6.7%
6	TI	5.6%	5.7%	6.0%

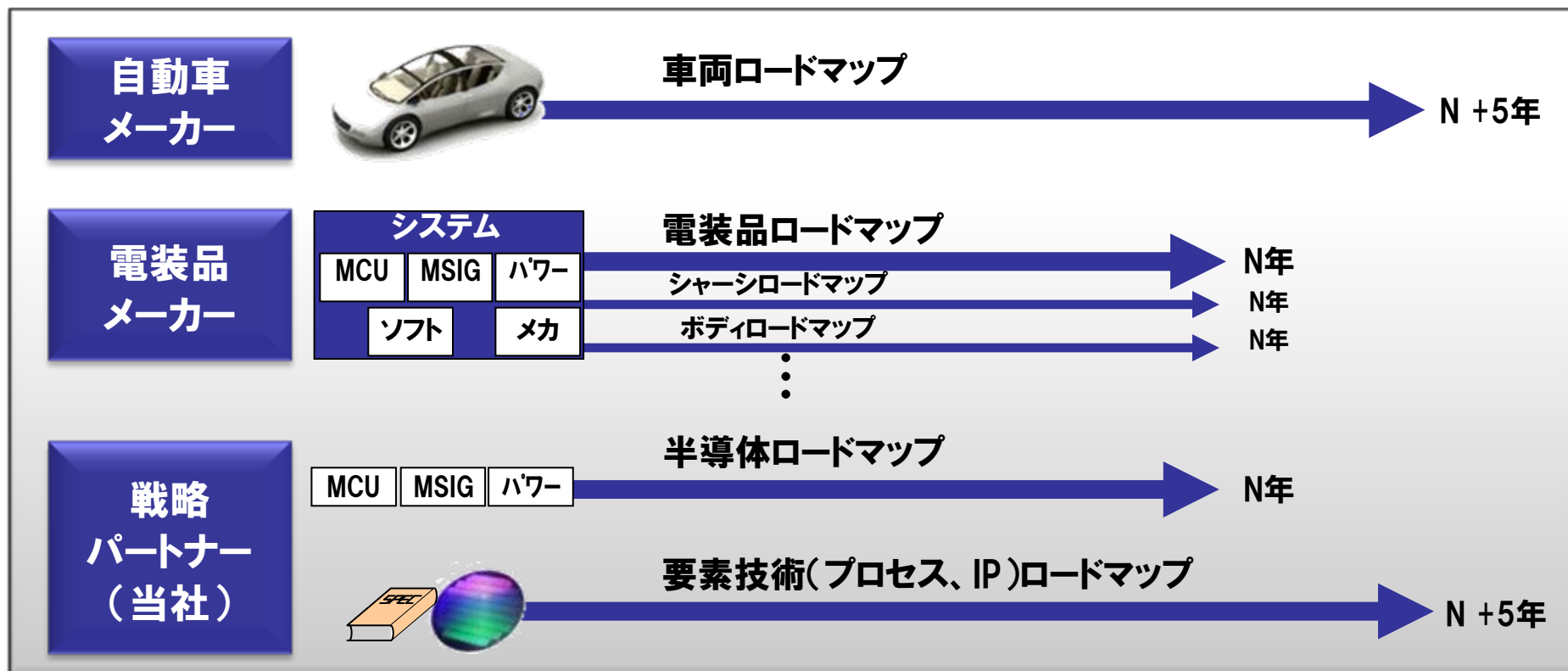
車載プロセッサ(MCU/MPU) WW				
	Company	CY09	CY10	CY11
1	Renesas	41.7%	41.2%	42.7%
2	Freescale	19.5%	21.5%	19.5%
3	Infineon	6.6%	7.0%	8.3%
4	Fujitsu	6.2%	7.0%	7.0%
5	TI	6.6%	6.0%	5.9%

車載アナログASIC&パワー半導体 WW				
	Company	CY09	CY10	CY11
1	STMicro	16.6%	17.9%	18.6%
2	Infineon	16.5%	15.8%	16.6%
3	NXP	11.4%	12.5%	10.8%
4	TI	8.3%	8.0%	7.9%
5	Renesas	6.6%	7.0%	7.3%

※) 出典: Strategy Analytics、車載プロセッサと車載アナログ&パワーのシェアは、上位12社の合計金額を母数に算出

自動車分野での戦略的パートナーシップ構築

- 長期的視点に立った製品・技術ロードマップの共有により、お客様の製品開発力の強化に貢献

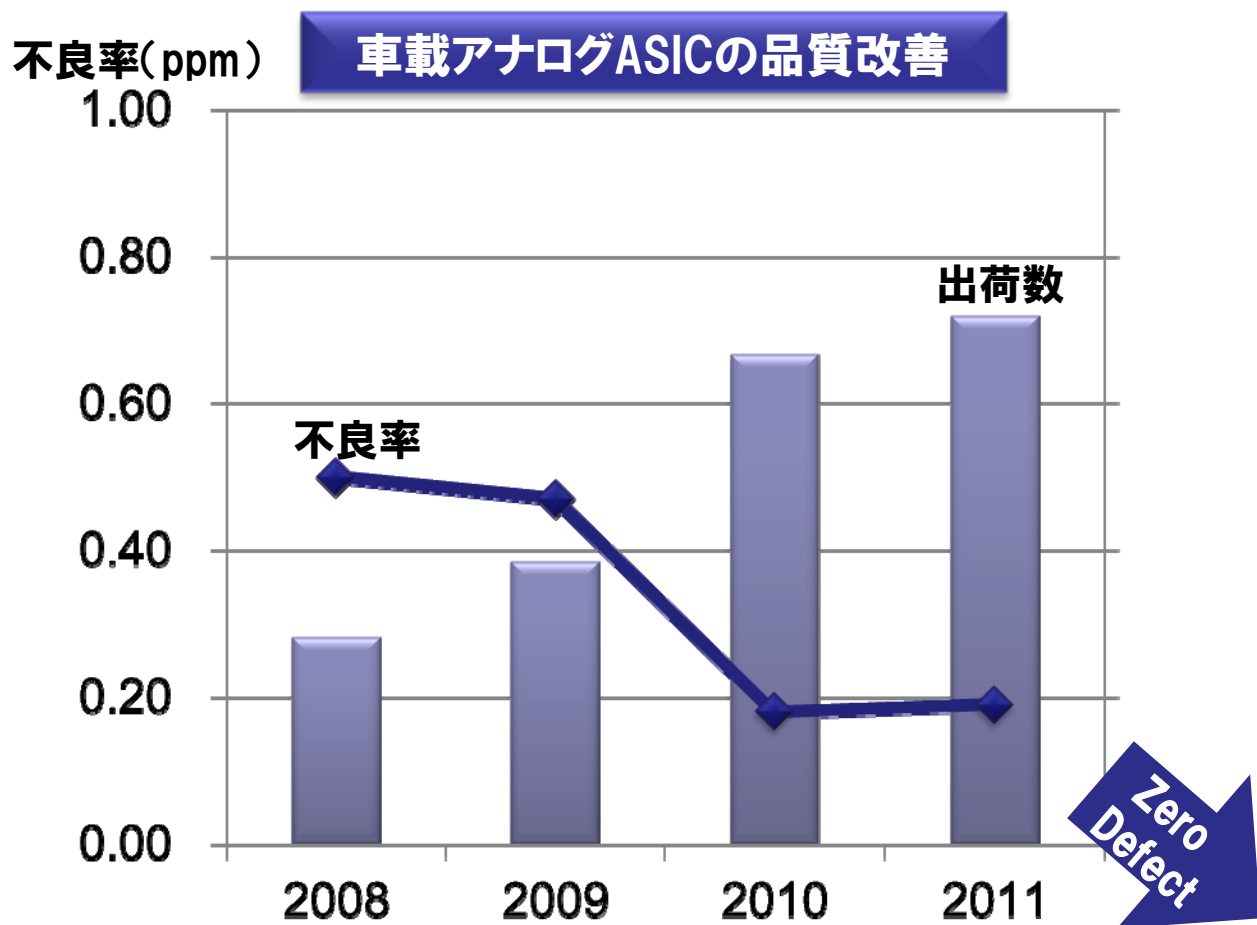


キットソリューションによるプラットフォーム商談獲得事例

- ✓ 複数の国内・海外大手電装品メーカーから、2017-2020モデル向けの商談獲得

車載マイコンと競い合うアナログでの高品質への取り組み

- 高品質を誇るマイコンの実績に加えて、車載アナログでも設計、生産段階で、マイコンと共通の品質向上プログラムを実施
- 製品不良率の着実な低下 ーゼロ・ディフェクトへ



*) ppm: parts per million, 100万個における不良品の個数

更なる事業強化に向けて

- 戦略パートナーとしての実績に基づき、キットソリューションの提供を拡大し、さらなる顧客価値の向上を実現

現在

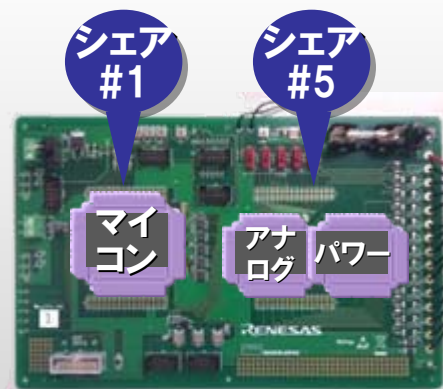
電装品メーカーが 求める戦略パートナー 要件を充足

- ✓ マイコン、アナログ＆パワーのワンストップ提供
- ✓ 開発期間・コストの低減
- ✓ 長期的視点に立ったロードマップ共有による開発力強化
- ✓ 製品の安定供給能力
- ✓ 車載マイコンとアナログで競い合う品質改善

世界中の
大手自動車・
電装品
メーカー
での採用
実績拡大

将来

マイコン＋アナログ & パワーのキット ソリューション拡大

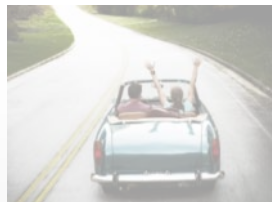


HEVバッテリー制御用
リファレンスボード

アナログ＆
パワーも
シェア
拡大へ

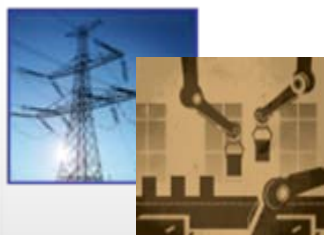
産業向けソリューション

自動車



パワートレイン
シャーシ
ボディ
カーナビ

産業



FA・工作機械
水道・ガス・電気メータ
太陽光・水力・風力発電
ビル管理システム

家電



白物家電
エアコン
ゲーム機
LED照明

通信



携帯電話(スマートフォン)
タブレット
有線・無線通信インフラ
サーバー・ルーター

健康機器・医療



医療機器
MRI
フィットネス機器
体重計・血圧計

社会インフラを担う産業向けソリューション

■ マイコン、アナログ & パワー、SoCで社会インフラを支えるルネサス

産業



RENESAS

世界
シェア#1
マイコン

- ✓ 40nmによる低消費電力製品をラインアップ
- ✓ 世界No.1シェアのモータマイコン 世界
シェア#1
- ✓ センサ対応のSmart Analogマイコン

パワー

- ✓ インバータ向けIGBT
- ✓ 高耐圧SJ-MOSFET
- ✓ SiC(シリコンカーバイド)製品

アナログ

- ✓ 産業向け高性能フォトカプラ
- ✓ LED照明ソリューション
- ✓ PFC(力率改善)電源用IC

SoC

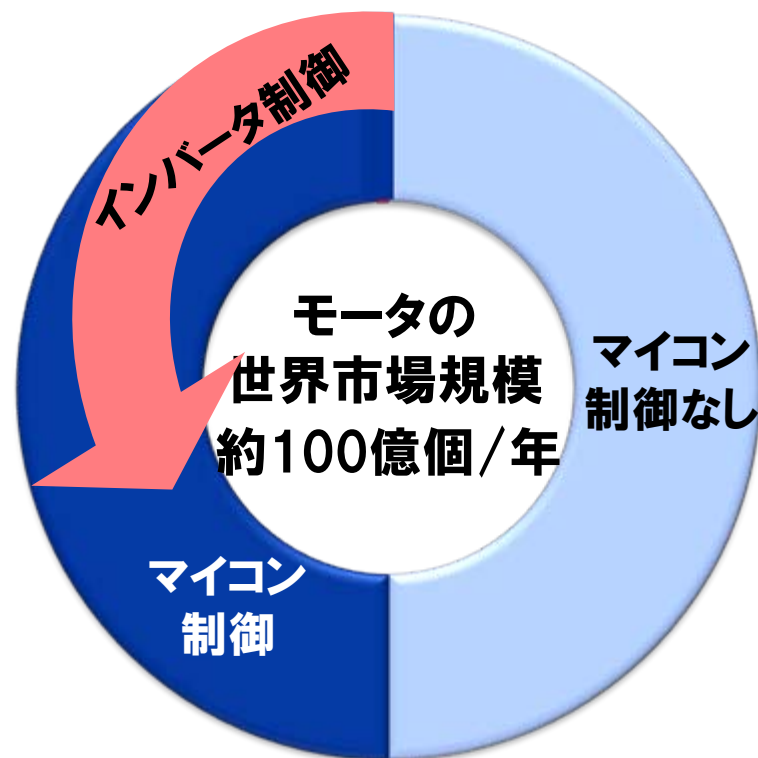
- ✓ 高信頼性・低消費電力のASICプラットフォーム 世界
シェア#1
- ✓ 産業向けに最適化したIPコア群
- ✓ 産業ネットワーク向けASSP

*) シェアは当社推定。 IGBT: Insulated Gate Bipolar Transistor, PFC: Power Factor Correction, SJ-MOSFET: スーパージャンクション構造パワーMOSFET

省エネに向けモータ制御の鍵となるマイコン

- 省エネ推進には、様々な機器に搭載され、電力消費の5割を占めるモータをマイコンにより効率的に制御することが必須に
- 更なる電力効率化が可能で、需要拡大が期待される、インバータ・モータを制御するマイコンに注力

モータで動く様々な機器



*) 出典：統計データに基づくルネサス推定

インバータ・モータ向けトータルソリューション

- インバータ制御技術の優位性を強みに世界No.1のシェアを持つマイコンとパワー半導体の組み合わせは、省エネ化に最適なトータルソリューション
- 世界各地のニーズに対応したオール・ルネサス・ソリューションを提供中

インバータ・モータ 向けマイコン（制御）



産業向け
WWシェア
約50%



パワー半導体 （電力効率向上）

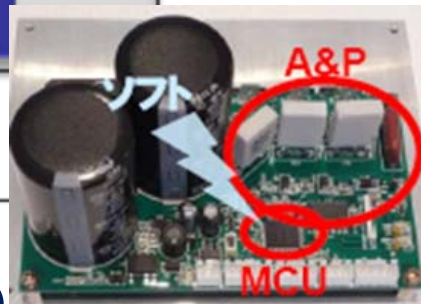
世界最高レベル性能

IGBT

パワーMOSFET

PFC

フォトカプラ



キットソリューションにより
マイコンの高シェアに同期して
アナログ&パワーのシェア拡大へ



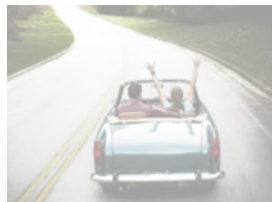
RENESAS

各地域のニーズに応じて
省エネ性能を最適化

*) シェアは当社推定.

スマートフォン向けソリューション

自動車



パワートレイン
シャーシ
ボディ
カーナビ

産業



FA・工作機械
水道・ガス・電気メータ
太陽光・水力・風力発電
ビル管理システム

家電



白物家電
エアコン
ゲーム機
LED照明

通信



携帯電話(スマートフォン)
タブレット
有線・無線通信インフラ
サーバー・ルーター

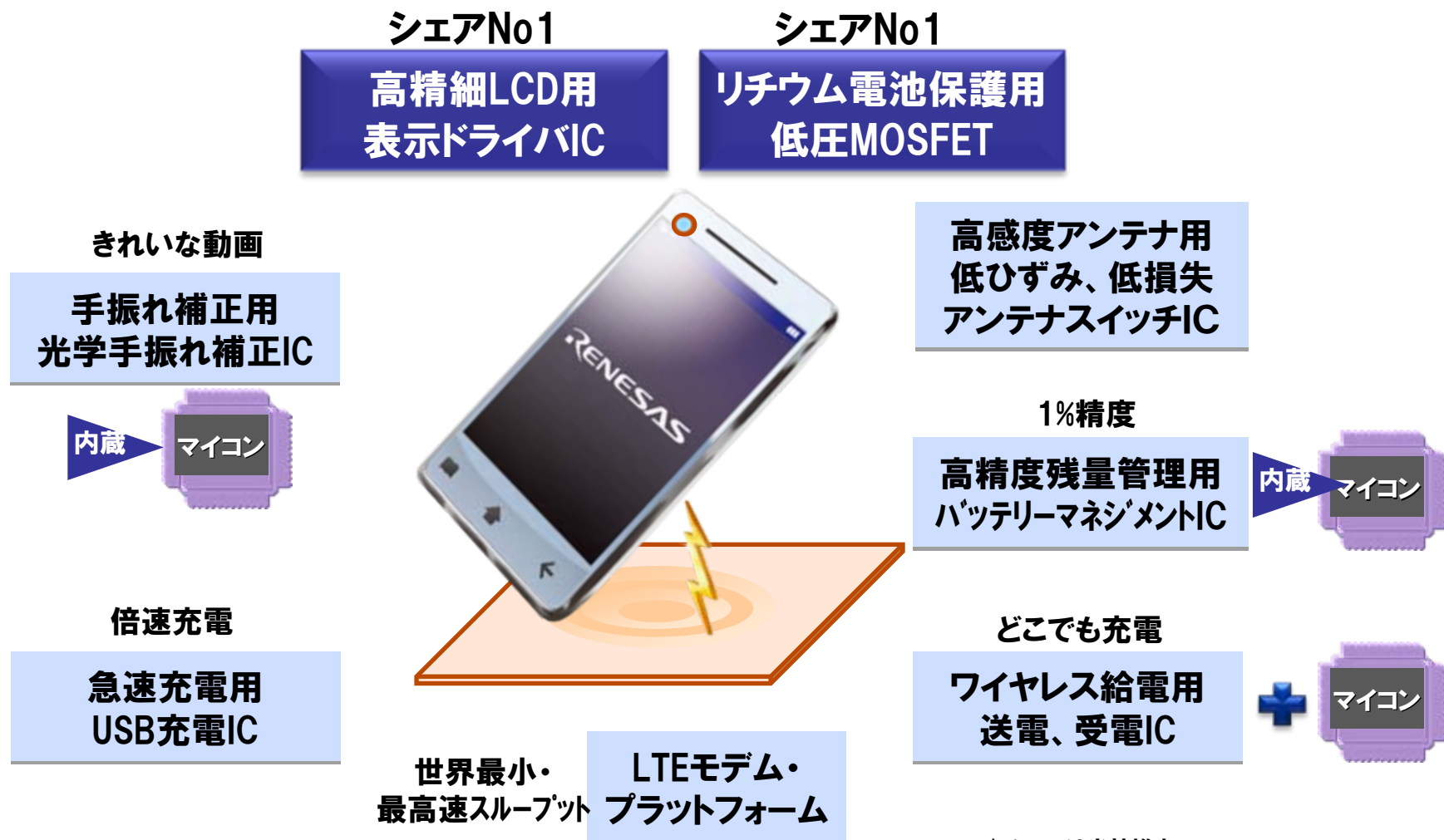
健康機器・医療



医療機器
MRI
フィットネス機器
体重計・血圧計

新技術でスマートフォンの進化に貢献

- No.1シェアの既存製品を軸に、更なる高機能化、小型化、低消費電力化を加速
- 独自技術により、スマートフォンにイノベーションと、新しい市場価値を提供



*) シェアは当社推定

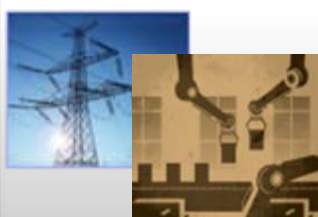
幅広い分野に応用可能な汎用製品の強化

- 分野を問わずに幅広く応用できる汎用製品を強化・ラインアップ拡充し、新興国をはじめとしてグローバルに展開

自動車



産業



家電



通信



健康機器・医療



マイコン

中国発 1,000製品

- ✓ 中国現地開発品をはじめとして中国向けに3年で1,000製品投入
- ✓ 約700製品投入済み
- ✓ 中国向け1,000製品を、インドなど新興国他にも展開

パワー

新製品 ×1,000

- ✓ 高耐圧品を中心に3年でパワーデバイス1,000製品を投入
- ✓ 約700製品投入済み

マイコン +アナログ

Smart Analog

- ✓ マイコンと再構成可能なアナログを組み合わせた新製品を投入
- ✓ 各種機器に搭載される複数のセンサに1チップで対応可能
- ✓ ツール提供により、今年度内に1,000センサに対応可能へ

ディスクリート

汎用リニアIC

SRAM

EEPROM

フォトカプラ

...

SoCの事業ポートフォリオ最適化

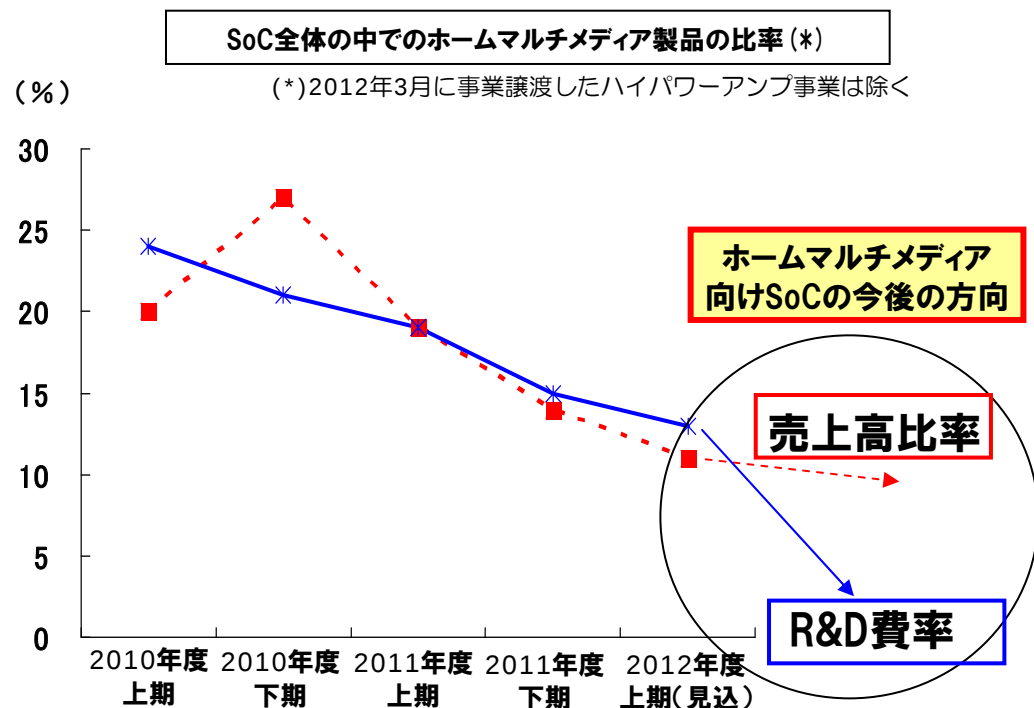
= ホームマルチメディア向けSoCの新製品開発中止 =

ー従 来ー

ホームマルチメディア向けSoC事業では、製品寿命が短い分野の開発を絞り込み、不採算品を整理

ー今 後ー

更なる市場環境の悪化を受け、ホームマルチメディア関連の新製品開発を全面的に集約

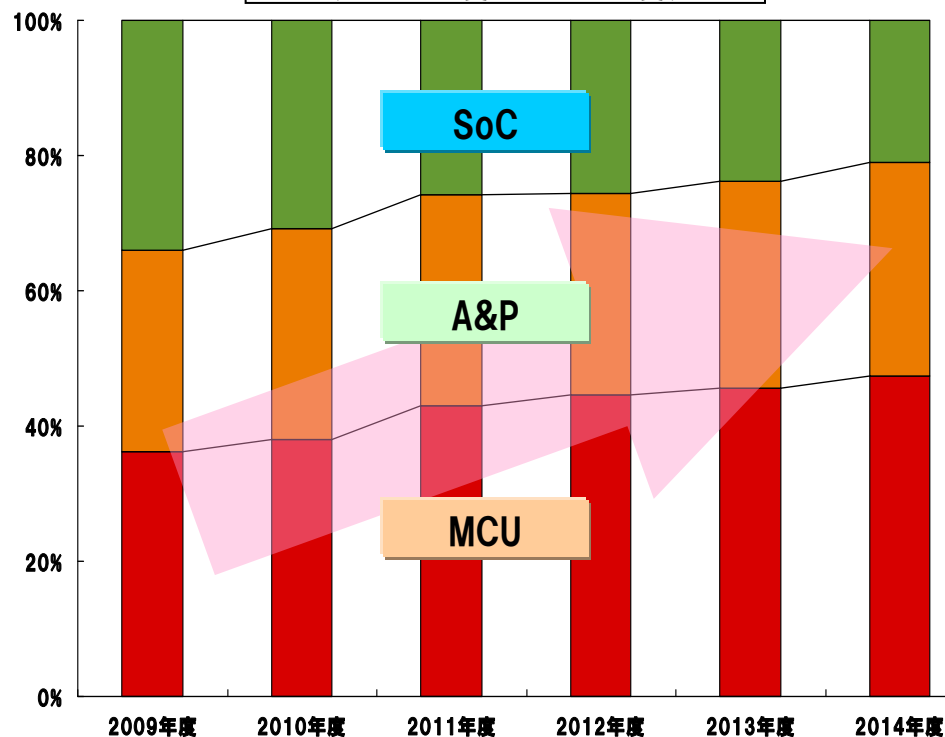


既存品の販売サポートは今後も責任を持って継続するが、新規の製品開発及びR&D活動の停止で、収益改善に寄与

事業ポートフォリオの最適化による収益性の向上

- 既存分野での実績を基に、スマート社会を築く強い分野へ集中することで収益性を向上

事業別の売上構成
(2009年度～2014年度)



Ⅲ. 収益基盤の強化に向けて

Ⅲ-2 生産構造対策および人的合理化施策

国内生産拠点再編の方向性

■ 3年を目途に生産拠点の再編全体を推進

前工程	生産負荷に応じた適正体格で運営を継続	生産能力を縮小し適正体格で運営を継続	生産能力を縮小し運営但し事業計画に従い譲渡を検討	生産能力を縮小し運営但し事業計画に従い集約を検討	後工程	生産負荷に応じた適正体格で運営を継続	生産負荷に応じた適正体格で運営を継続但し将来的に譲渡も検討	生産能力を縮小し運営但し事業計画に従い譲渡を検討	生産能力を縮小し運営但し事業計画に従い集約を検討
那珂	12インチ 8インチ				米沢*5	○			
鶴岡 ¹			12インチ *1年を目途に譲渡検討 5インチ *3年を目途に譲渡又は集約を検討		大分*6		○		
川尻*2	8インチ				熊本(大津)*7		○		
西条	8インチ				函館*8			1年を目途に譲渡を検討	
滋賀*3	8インチ GaAs	6インチ			青森*9			生産負荷に応じた適正体格で運営 1年を目途に譲渡を検討	
高崎		6インチ		5インチ *13年度下期予定	福井*10			1年を目途に譲渡を検討	
甲府	8インチ			6インチ *14年度下期予定	柳井*11				3年を目途に集約を検討
山口*4			6インチ *1年を目途に譲渡検討		山口				13年度下期集約予定
高知		6インチ			熊本(錦)*12			3年を目途に譲渡または集約を検討	

*1) ルネサス山形セミコンダクタ 鶴岡工場(山形県鶴岡市)
 *2) ルネサス セミコンダクタ九州・山口 川尻工場(熊本県熊本市)
 *3) ルネサス関西セミコンダクタ 滋賀工場(滋賀県大津市)
 *4) ルネサス セミコンダクタ九州・山口 山口工場(山口県宇部市)

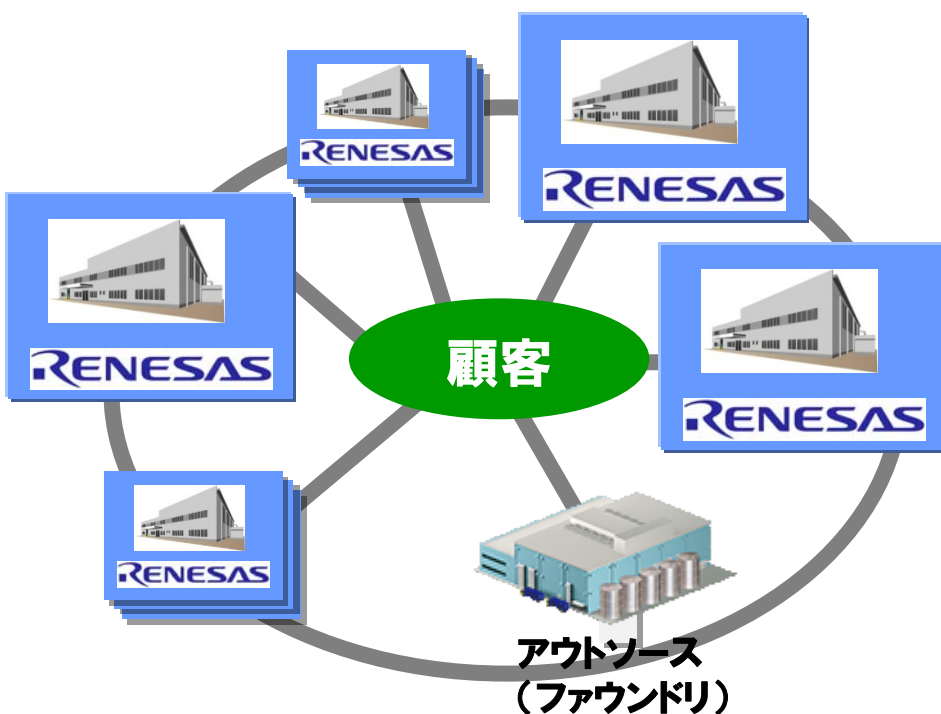
*5) ルネサス北日本セミコンダクタ 米沢工場(山形県米沢市)
 *6) ルネサス セミコンダクタ九州・山口 大分工場(大分県中津市)
 *7) ルネサス九州セミコンダクタ 熊本工場(熊本県菊池郡)
 *8) ルネサス北日本セミコンダクタ 函館工場(北海道亀田郡)

*9) ルネサスハイコンポーネンツ(青森県北津軽郡)
 *10) ルネサス関西セミコンダクタ 福井工場(福井県坂井市)
 *11) ルネサス柳井セミコンダクタ(山口県柳井市)
 *12) ルネサス セミコンダクタ九州・山口 熊本錦工場(熊本県球磨郡)

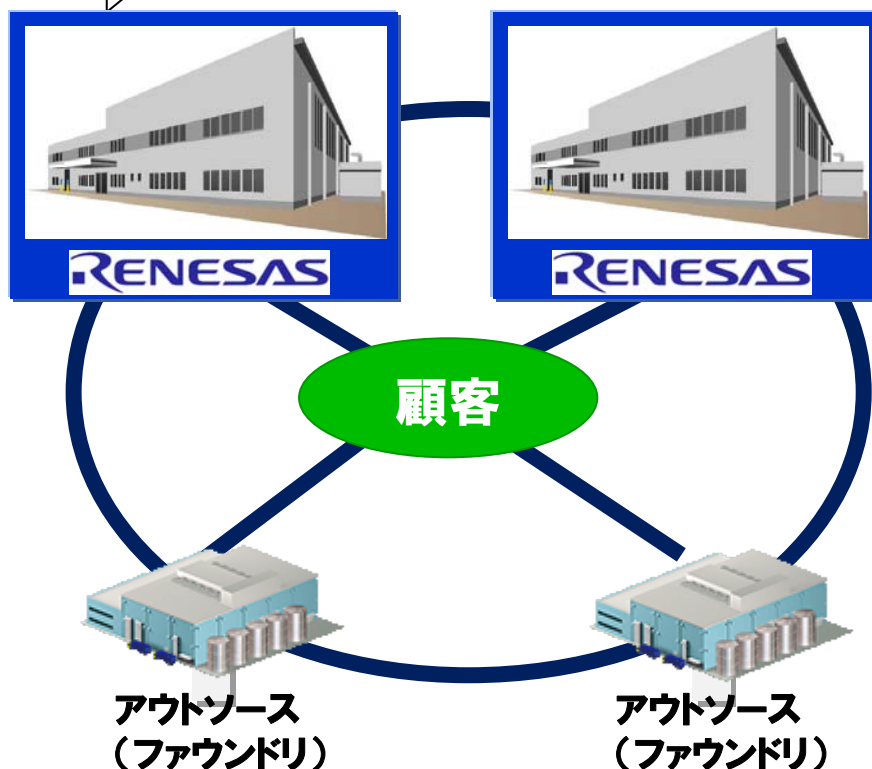
生産再編に伴うファブネットワークの進め方

- ファウンドリを含むファブネットワークをより選択的かつ確実に構築し、生産構造対策実行後も既存製品の継続的な安定供給体制を確保

当社のファブネットワークの概念図



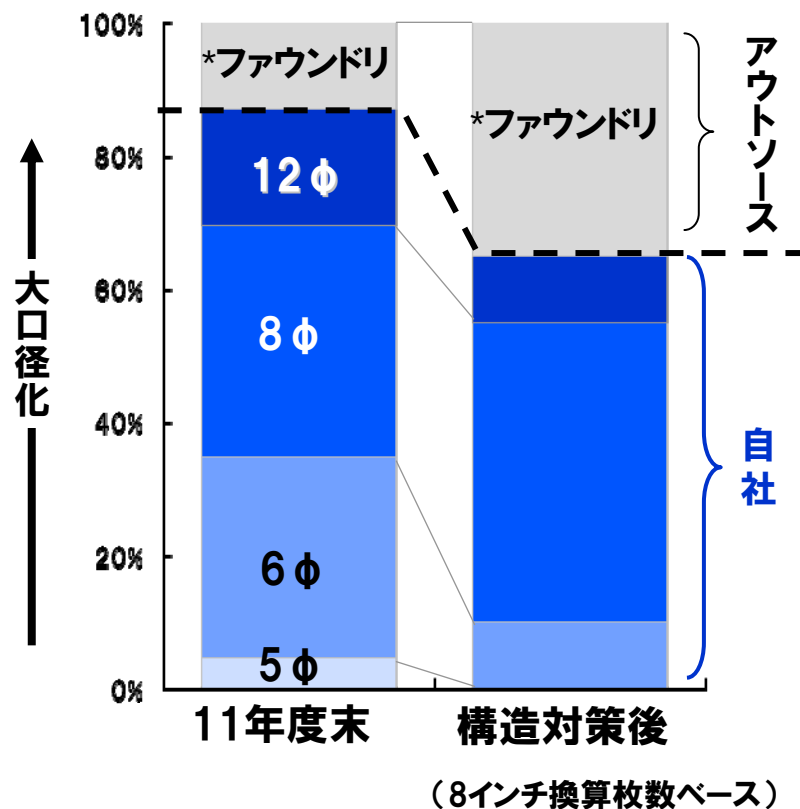
構造対策後



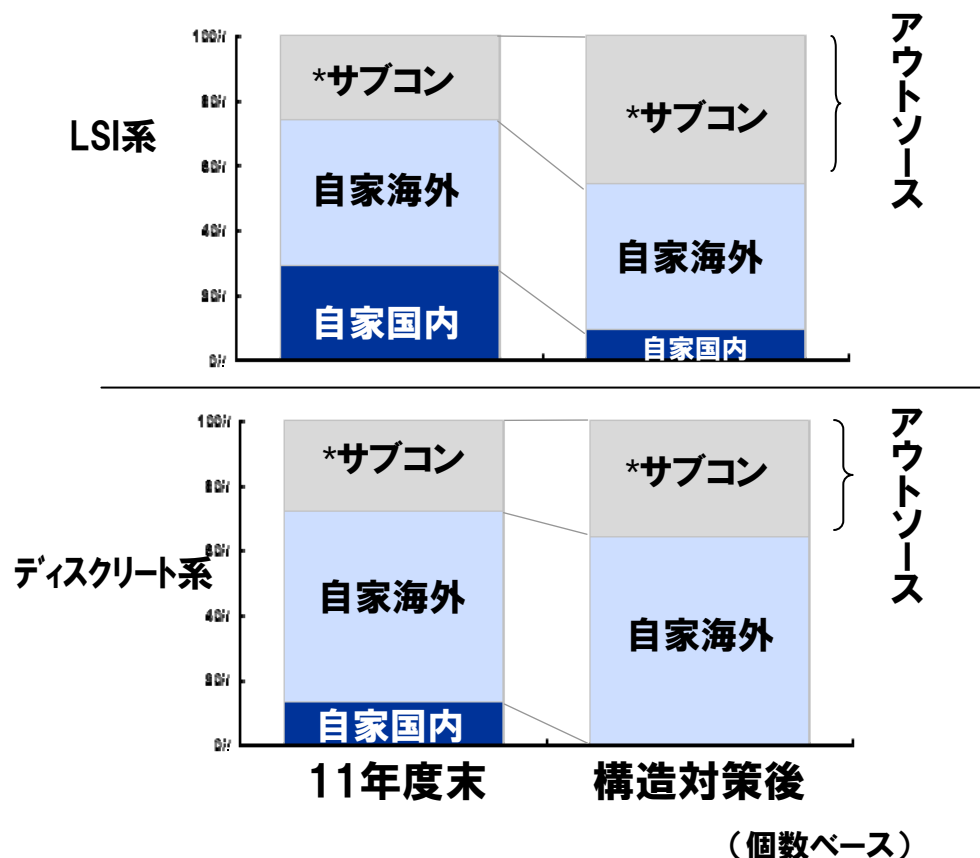
生産構造対策完了後の生産体制

- 前工程は大口径化とアウトソース化、後工程はアウトソース化と海外シフトを加速し、市況変動対応力と製品競争力の強化を実現

前工程生産計画



後工程生産計画



*) ファウンドリ、サブコンには、譲渡後の旧当社工場を含む

人的合理化施策等の効果

- 早期退職優遇制度、事業・生産構造対策の実行により、収益構造の大幅な改善を見込む

早期退職優遇制度の実施

5千数百名の応募を想定し、
年間で約430億円の費用削減効果を実現

事業構造対策

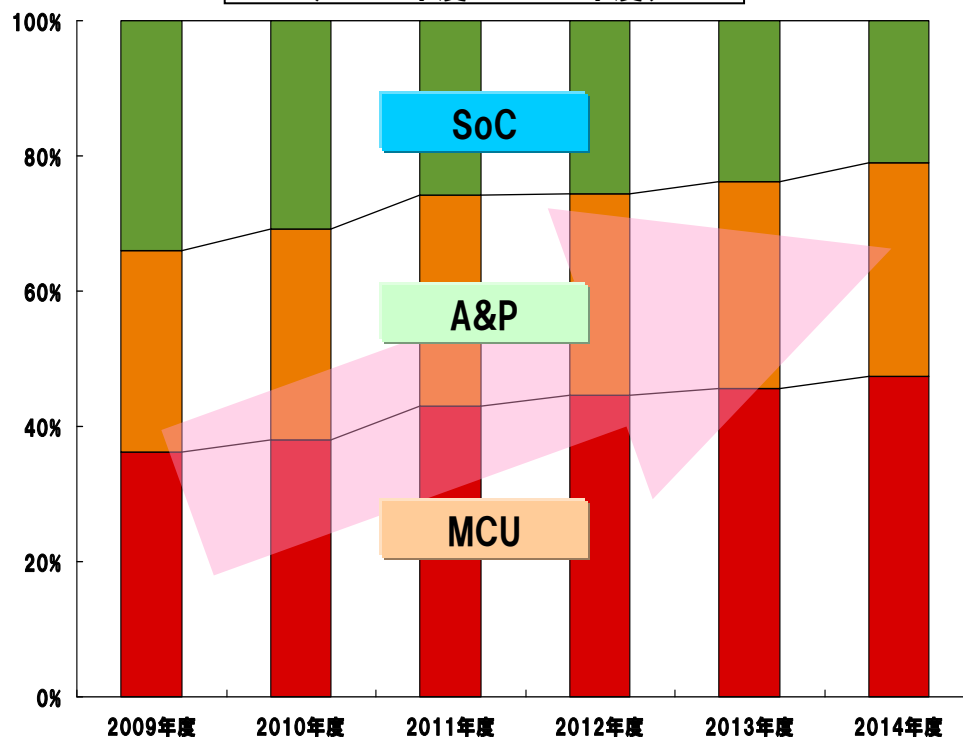
生産構造対策

今後さらなる費用削減効果を見込む

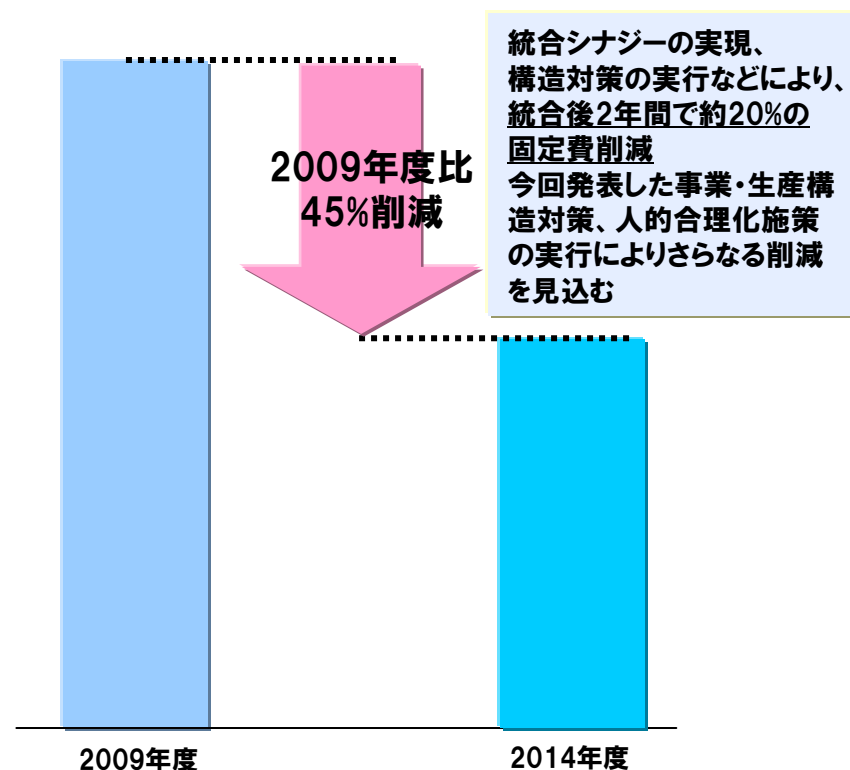
IV. まとめ

まとめ：目指す事業構造

事業別の売上構成
(2009年度～2014年度)



固定費の推移
(2009年度→2014年度)



抜本的構造改革により、事業ポートフォリオと費用構造を変革し、
2014年度において営業利益率10%以上の達成を目指す

（将来予測に関する注意）

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、（１）ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、（２）市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、（３）激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、（４）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

© 2012 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.